

令和7年度 静岡看護専門学校 学校関係者評価会議

- 1 日 時 令和7年4月23日（水） 15時30分～16時45分
- 2 場 所 静岡看護専門学校 1階 会議室
- 3 出席者 (委員) 櫻井委員、間淵委員、ボグズ委員（欠席：深澤委員）
(事務局) 瀧副校長、突田事務長、松永教務長、矢野、宮田、脇田
- 4 傍聴者 0人
- 5 議 題 (1)「自己点検・自己評価結果」報告
(2)「自己点検・自己評価結果」について
(3)学校関係者評価について
- 6 議事

瀧

3月1日に40名の卒業生を送り出しました。国家試験も16年連続合格率100%です。昨年度は新カリキュラム3年目となり、新カリキュラムが形となって全体が見えてきた年です。

突田

後援会長深澤委員は欠席ですが、過半数の出席がありますので会議は成立します。各委員、自己紹介をお願いします。

櫻井

ここの他にいくつかの会議に参加させていただいている。看護協会でもこの会議での話を参考にさせてもらっています。

間淵

この会議での話を参考に、臨床での教育やスタッフ教育ができる。静岡看護はとても良くできている。看護専門学校の良さを長く続けていけるようにしてほしい。

ボグズ

(個人としては)初めて参加します。学生を受け入れる立場から、また違う視点で学校の手伝いができればと思います。

(事務局自己紹介)

瀧、突田、松永、矢野、宮田、脇田の順で挨拶

瀧

今自己紹介した事務局メンバーの他、本日は所用のため欠席となりますが、今年度は4月1日より校長が前田（明則）に変わっています。

突田

委員長・副委員長の選出にうつります。委員長は委員の互選で定めるものとされています。どなたか推薦はありますか。

間淵

櫻井委員を推薦します。

櫻井

お受けさせていただきます。

突田

では、櫻井委員は委員長をお願いします。委員長は副委員長の指名をお願いします。

櫻井

ボグズさんをお願いしたいと思います。

突田

ボグズ委員をお願いします。以降の進行を櫻井委員長をお願いします。

櫻井

では議事にうつります。(1)の報告からお願いします。

瀧

資料(自己点検・自己評価報告書)に沿って説明

櫻井 ありがとうございました。報告について不明な点やご意見あればお願いします。

ボグズ 新たな実習施設という話がありましたが、どのような内容になっていますか？

矢野 2年次成人看護学実習Ⅰに慢性期・回復期として清水さくら病院と静清リハビリテーション病院、老年看護実習も同じ。1年次の2月にある基礎看護実習Ⅱに静岡赤十字病院、その他静岡てんかん・神経医療センターなど1日だけ行く実習先などがあります。

間淵

実習の移動などもあって、時間がないということもある。演習のサポートとして臨床ができることはないかと思いました。静岡県立大学からの依頼で、サポートとして静岡赤十字病院から人を出していたこともある。

松永

旧カリキュラムの中では、実習前に静岡病院の指導者が来て指導をお願いしていた。新カリキュラムでも、静岡病院の3～5年目の看護師に演習サポートに入ってもらっている。準備には時間がかかるが、指導の一部をお願いすることで負担軽減だけでなく、臨床の最先端を学ぶことができる。

宮田

臨床の指導者が入ることで教員が行うのとは違うリアル感がある。今年度も実施する予定。

ボグズ

演習のサポートとして、プラチナナースの活用も検討されてはどうか。ベテランのため、技術はもちろん学生指導でも期待できる人材です。

間淵

募集や人選の問題もあるが、幅広く柔軟に考えて良いかと。卒業後にメンタルをやられて疲れてしまう人がいる。在学中にカウンセリングを受けて卒業した人がその後どうなっているか興味があります。

瀧

在学中からメンタル面のサポートが必要な卒業生もいたが、例えば今回のアンケート結果を見る限り、(ポジティブな内容ばかりなので) 回答していないのではないかな。

間淵

(病院を) やめてしまうとそこから先がわからない。

松永

カウンセラーを配置しているが、カウンセリングにつなげるまでが大変。自覚のある人はカウンセリングに行ったら対処方法が分かるようになり、自分の考えを言えるようになっていけると感じる。病院の中にもそのようなシステムがあった方が良いのかもしれない。カウンセリングに行かない人は、中・高までのカウンセリングで嫌な思いをしてきたということもある。

間淵

(病院でも) 心の相談室を開いたことがあった。全く知らない人に相談できるというのはメンタルヘルスでは大事。

瀧

病院から看護師募集で挨拶に来ることがある。その中で配属先を検討するため内定者

に関する情報収集に来ることもある。本人がいないところで情報を渡すのは（個人の尊重の観点等から）どうかとも思うが、病院がどのような相談先や方法があることを明確にするとつないで行けるかもしれない。

櫻井

どこの病院もそういった相談窓口はある。また、入職前に情報をもらえるとサポートしやすいという面もある。

ボググズ

他の学校ですが、仕事の中で躓いてしまった人が「(相談のために) 大学に行ってきます」と言ったこともあった。何かしら継続してフォローできるものがあると良いかもしれない。

櫻井

講義資料のデジタル化については、これからさらに進んでいくものと思われる。改ざんや流用の可能性があるというのがデジタル化の問題点。情報リテラシーなど学生への授業の見直しなど考えていることはあるか。

松永

情報科学の授業があり、講義資料については誓約書を記載させている。また、マイナビに SNS に関するセミナーを実施してもらっている。職員としても、静岡市職員としての規程もあり、内・外部の研修に参加する等している。

櫻井

どのレベルなら許されるのか、見極めが非常に難しい。デジタルで配布された授業資料と電子テキストを同じと捉えるということもある。ただ、誓約書を書かせただけでは理解できないこともある。

松永

私たち（教員自身）が知らない SNS などどんどん出てくる。常に情報を更新していく必要があると感じている。

瀧

繰り返し言い続けて意識させていく。過去に起こった具体的な案件を教材にしていくことで、学生によりリアル感がある事柄から学ばせていく。

櫻井

評価については今ついている点数で良いでしょうか。一部、評価 2 になっていますが、聞いている限り教員数の余裕がないなどということがあある。ただ、教育活動はしっかりされている。評価は変えないが、今後も工夫していただければと思います。

突田

この会議の議事録はホームページ上に掲載します。

瀧

この会議の定例会は1回ですが、何かあればまた協力いただきたいと思います。